

SKI・ボード上達への道は明確な目標を持つこと

今、1級をお持ちの方々シーズンイン前に目標を設定しましょう！
指導員(正指、準指)への道が、あなたの人生を豊かにします

公益財団法人神奈川県スキー連盟
専務理事 上田 英之
教育本部長 岡田 良平

目標を持ってスキーをすると格段に足前は上手くなります。スキーの楽しさがもっと理解できます。スキーの魅力の伝達者として1級所持者の方は是非「公認スキー準指導員」にチャレンジすることをお勧めいたします。今年、全日本から検定種目の変更があり、昨年までの6種目から8種目に変更され、神奈川県スキー連盟では、昨年度から準指検定の種目に制限滑降も加え合計9種目の価値ある資格となります。プライズテストや県技術選手権に出場しながら技術を研鑽することの対極に、指導法やスキー理論を学びながら技術向上を目指したり、講習会に参加しながら所属団体(クラブ)を超えた仲間作りができるのが、「公認スキー準指導員」チャレンジの良いところですよ。皆さんの受検を心よりお待ちしております。

準指導員資格をお持ちで、次の目標が見つからない方、「公認スキー指導員」にチャレンジしてみませんか。もちろん、全国5会場に分かれて開催される「公認スキー指導員検定会」は、簡単な検定会ではありません。しかし、クラブのリーダーから協会のリーダー、そしてSAJ技術員となって県のリーダーの役目を果たしていただくには、「公認スキー指導員」の資格が必要なのです。将来の県のスキー界をリードするリーダーとして是非「公認スキー指導員」にチャレンジしていただきたいと思っております。

一緒にスキーの魅力の伝達、協会や地域の活性化を図りましょう！資格を取ることは決して簡単ではありませんが、ぜひチャレンジしてみてください。そして、合格に向かってトライする楽しみを味わっていただきたいと思っております。神奈川県スキー連盟はチャレンジする皆さんの後押しをしていきたいと思っております。スノーボードも全く同じと言えます。

受検のメリット

- 目標を持てば、滑ることがより楽しくなります！
- “指導する、ことを学ぶことは、自分の技術を高めることにつながります！
- これら指導員の資格は理論も勉強しますが、実技と理論を学習することにより、スキー技術の幅がぐんと広がり、「滑ること」がより楽しくなります！
- 同じ目標を持つ者同士として、スキー仲間が増えます
- 自分の人生が豊かになります

受検に関して

- ・検定種目が6種目から8種目に増え、合格した際の達成感が増します。
- ・準指導員検定の試験は理論検定:11月、実技検定:3月に実施します。指導員は、2月です。
- ・受検のための講習会等は土日の行事がほとんどです。

もし、受検を迷っているなら思い切ってトライしてみましょ。

ひとりじゃ不安・・・という方は、同じレベルくらいの仲間を誘ってトライしてみましょ。また、迷っている

仲間がいたら、ぜひ「Let's try!」と呼びかけてみてください。

◆詳しくは教育本部検定委員会まで◆

以上